| ### 2018/08/08 ### 2018/08/08 ### 2018/08/08/08 ### 2018/08/08/08 ### 2018/08/08/08/08/08/08/08/08/08/08/08/08/08 | 対象国の条件: 修コース番号:201984695-J002 | | |
|--|--|----------------------------|----------------------------------|
| 使用書館 接触 使用書館 技術 使用書館 技術 使用書館 技術 使用書館 技術 使用書館 技術 (| · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | | |
| ##### 上回では最新は電影が産業であるが、小曲は資金から、 生産経向上には多くの機能を拡充でいる。地域の農業新展を担う業人員においます。 地域の農業新展を担う業人員においます。 地域の農業新展を担う業人員においます。 地域の農業新展を担う業人員においます。 地域の農業新展を担う業人員においません。 地域の農業が出ている。 地域の農業新展を担う業人員においません。 地域の農業が出ておいます。 地域の農業が出ておいます。 日本/成果 | | | |
| 上回では高率は正面を改善を含えた。 小窓村の上には多くの理想を抱えている。 連載の過業を関や担うを表見にその 加速などが多かにいるが、不幸や人員もなわないる。 市場の・市場では関花から130年の民党の中で農民の自 中を表記の自 中を表記のも かった で で で で で で で で で で で で で で で で で で で | | | |
| 上田立上農衆主理の政策をよるるが、小売出資の人なく、不等作用。上によるの容易を表えている。東域の影響を興き行り、決及員は不のでしまった。 「素性のようなが、子等な人自、対象は変もなった。 「素性のような情報を含する。 「大きな経験を含する。 「大きなど、大きなど、大きな経験を含する。 「大きなど、大きなど、大きなど、大きなど、大きなど、大きなど、大きなど、大きなど、 | 24.0000 | | |
| ### 2019/11~2019/12 | 上国では農業は重要な産業であるが、小農は資金もなく、生産性向上には多くの課題を抱えて 題解決に努めているが、予算や人員も限られている。北海道の十勝では開拓から130年の歴 課題を少しずつ解決してきた経験を有する。 プログラムは、参加研修員が、農民の意向を尊重した農村開発アプローチや、農民の意欲を向 | 歴史の中で農民 句上させる効果 | その自主性を活かすことでこれ そのな市場参画の手法を学び、 |
| ### 2019/11~2019/12 | | 按 | |
| 成果) - 農民とのコミュニケーションおよび共働のあり方について説明できる - 農民の意味向上につながるアグリビジネスのポイントについて説明できる - 農民の意味向上につながるアグリビジネスのポイントについて説明できる - 東北河意教の農民主導による普及活動の計画を機めた活動計画が作成される - 中 日と普及活動計画を立文し実施、促進できる空場にある者 - ロンボインにのでは、大杉研修に習得したい内容について記載したインセブションレポートの作成 - 本邦研修制 - 大杉研修 - 内 - 大杉研修 - 大杉研修 - 内 - 大学 - 大学 - 一般 - 大学 - 大学 - 大学 - 一般 - 大学 - 大学 - 一般 - 大学 - 大学 - 大学 - 一般 - 大学 - 一般 - 大学 - 大 | 案件目標】 加者が、農家の生計向上を促すための農民主導による普及活動計画を策定する。 | 【対象組織】 各国の農業普 | 及局、農家組織等、農業技術 |
| 事前活動】 国における農業技術普及活動にかかる問題点、また参加者自身の担当業務で抱える問題点、 本邦研修】 1)農業教育カリキュラムの構成と組み立て方法、農業高校における教育:生徒主体の 農作物教育・加工プロジェクト等、農業改良等及所の取組みとアプローチ方法、 農民主導による土候農協の登展の歴史と現状 2)農協と地域開発、十勝の農畜産業の仕組みと農民の所得を増や中アグリビジネスの取組 み、優良農家の取組み、地域特産品の開発、農家の発案による効果的な市場参画への取組み 3)農民の自発性を促すワークショップ手法、活動計画の作成 事後活動】 修成果を関係者と共有し、普及計画に役立てる | 「成果】 . 農民とのコミュニケーションおよび共働のあり方について説明できる . 農民の意欲向上につながるアグリビジネスのポイントについて説明できる . 帰国後の農民主導による普及活動の計画を纏めた活動計画が作成される | 【対象人材】 農業指導者、 等、自ら普及 | 普及員、農家組織のリーダー 活動計画を立案し実施、促進 |
| 1 | 内 容 事前活動】 国における農業技術普及活動にかかる問題点、また参加者自身の担当業務で抱える問題点、 よび本研修で習得したい内容について記載したインセプションレポートの作成 | 本邦研修期間 | 2019/11~2019/12 |
| 農作物栽培・加工プロジェクト等、機能の歴史と現状 2)農協と地域開発、十勝の農畜産業の仕組みと農民の所得を増やすアグリビジネスの取組 み、優良農家の取組み、地域特産品の開発、農家の発業による効果的な市場参画への取組 組み 3)農民の自発性を促すワークショップ手法、活動計画の作成 事後活動】 修成果を関係者と共有し、普及計画に役立てる 下管国内機関 | 本邦研修】 | 油水細胞 染 | 農村開発部 |
| 事後活動】 所管国内機関 修成果を関係者と共有し、普及計画に役立てる 関係省庁 実施年度 2018~2020 要協力機関 http://www.t-i-a.jp/ | 農作物栽培・加工プロジェクト等、農業改良普及所の取組みとアプローチ方法、 農民主導による士幌農協の発展の歴史と現状 (2) 農協と地域開発、十勝の農畜産業の仕組みと農民の所得を増やすアグリビジネスの取組 み、優良農家の取組み、地域特産品の開発、農家の発案による効果的な市場参画への取 組み | 143株鬼部 | |
| 事後活動】 修成果を関係者と共有し、普及計画に役立てる 関係省庁 実施年度 2018~2020 | o) 展式の日光性を使りソークンヨツノ手法、店期計画の作成 | HEAR HOLD I FAR HE | |
| 実施年度 2018~2020 | 事後活動】 修成果を関係者と共有し、普及計画に役立てる | が官国内機関 | |
| 実施年度 2018~2020 | | 関係省庁 | |
| ### ### ### ### ### ### ### ### ### ## | | 実施年度 | 2018~2020 |
| 特記事項 及び Sームページ | 十勝インターナショナル協会 - 要協力機関 | | |
| 及び、 | http://www.t-i-a.jp/ | | |
| 及び、 | | | |
| ∇ームページ | 及び | | |
| - 247 - | た一ムページ | | |
| - 247 - | | | |
| - 247 - | | | |
| | - 247 - | | |

農民主導による普及手法~市場志向アプローチによる生計向上を目指した農民教育~ Farmer-Led Extension Method-Farmers' education for a better livelihood by market-oriented approach継続